



有限会社 藤原造林

[HTTP://WWW.YAMA-MORI.COM](http://www.yama-mori.com)



概要

- 昭和20年代 藤原正澄により甲府市黒平町にて薪炭材生産を始める。
- 昭和30年代 拡大造林期に入り、現会長が県有林の造林担当者となり、黒平地域を含む県有林約500haの造林育林事業を開始。
- 平成7年 組織を法人化し、間伐・搬出事業を主にした事業展開を始める。
- 平成15年 森林法の改正を受け、森林所有者を取りまとめて41haの森林施業団地を基盤に持続可能な林業経営を目標にした経営に転換
- 平成17年 吉野林業地の岡橋氏に師事し、高密度な作業道の基盤整備を開始。
- 平成20年 41haの施業団地を86haに拡充。間伐材の低コスト搬出を目標に作業システムの構築を目指す。
- 平成21年 新規に高根西部団地約60haと明野小笠原団地約83haの認定を受ける。
- 平成22年 小型ハーベスタの開発を行い、小型車両系の作業システムを構築
- 平成24年 新たな集材機の開発を行い、その試運転と改良を実行中
- 平成26年 受委託管理している森林、約427haについて、国際的な森林認証であるFSC-FMを取得、需要側とのサプライチェーンをつなぎ、森林所有者様に喜んで頂ける森林マネジメントの確立を目指している。

会社の事業等

- 事業内容:
- 1) 森林の経営計画の策定及び受託森林の管理
 - 2) 国・県・市町村の造林育林事業の請負業
 - 3) 素材生産事業、立木買取、庭木等の伐採、
枝落としと草刈等の維持管理業務
 - 4) 木材・薪炭材販売
 - 5) 森林整備と木材の利用促進の啓発活動

創業: 昭和25年: 藤原正澄 薪炭材生産

設立: 平成 7年: 藤原澄夫(現会長)により法人化と若手
人材の育成と機械化を推進

従業員数: 12名 平均年齢36.4歳

資本金: 6,000千円

経営理念 調和のとれた森林づくり

- × 森林所有者に信頼される企業
- × 社員が森林施業のプロフェッショナルとして、誇りとプライドを持って働ける企業
- × 社員が安心して働ける企業
- × 適正な施業により森林の公益的機能を高め、森林環境を保護する同時に、森林破壊の防止に努める企業
- × 将来的には、補助金に頼らない自立した林業経営ができる企業

事業内容(造林請負及び素材生産事業)

- 県有林・国有林の造林事業：甲府市北部を中心に約20ヘクタール
下刈・間伐・除伐・松くい虫防除等の作業
(指名入札及び一般競争入札)

- 素材生産事業：山梨県有林の立木公売の買取による木材生産事業及び一般民有林の立木購入による生産事業

事業内容(計画及び森林管理業務)

森林施業計画の実績及び状況

- ・ 甲府市北部 : 上帯那施業団地 約80 h a
幅員 2.5 mの作業道の開設及び間伐による長伐期施業
- ・ 北杜市明野 : 明野小笠原施業団地 約270 h a
松くい虫に強い赤松林の造成及び針広混合林への誘導施業
- ・ 北杜市高根 : 高根西武施業団地 約60 h a
赤松林複層林化と広葉樹林の再生
松くい虫に強いアカマツ林の形成及び択伐による樹種転換施業

その他

素材丸太の出荷先等

A材：注文による県内外の市場

B・C材：大手合板メーカーへの直送及び県内小規模製材所

- ・作業道の開設：持続的に使用する作業道の開設
- ・小型林業機械等の開発と販売

認証取得 SGS-FM/COC-009315 森林認証
 グループCOC認証 SGS-COC-1819

組織体制および人員数等

担当班名	作業内容	現在の担当地区
作業道班	作業道の整備、間伐	帯那地区・明野地区・高根地区
集約施業班 皆伐班	植林、間伐、伐採、搬出 素材生産	帯那・高根地区・明野地区 県有林及び民有林
請負班	公共事業の請負	甲府市北部のみ

	担当班					計
	作業道 2 班	施業 2 班		皆伐班	請負班	
リーダー	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	5 名
担当者	1 名	2 名	2 名	2 名	外注班	7 名
計	2 名	3 名	3 名	3 名	1 名	12 名

山梨の森林



山梨県の森林について

「森の国・水の国やまなし」
にふさわしい緑豊かな森づくり

県有林のすがた

県土面積の約1/3は県有林

本県は、県土面積（446,537ha）の78%を森林（347,578ha）が占める森林県です。

県有林は、県森林面積の46%（158,254ha）*を占めています。この県有林は、標高200mから3,400mにわたって分布しているので、多様な植生が成立しています。

* 植樹用貸地を含む面積



県民と密接な関わりのある県有林

明治44年3月、当時の入会御料地が特別御下賜されて以来、県民福祉の増進に寄与することを基本に、活力ある森林の維持・造成により県土の保全や水資源のかん養等森林の持つ公益的機能の充実強化を図るとともに、林産物の供給などそれぞれの時代の変化や森林に対する県民の様々な要請に応えるための管理経営を行ってきました。

FSC森林管理認証を取得した県有林

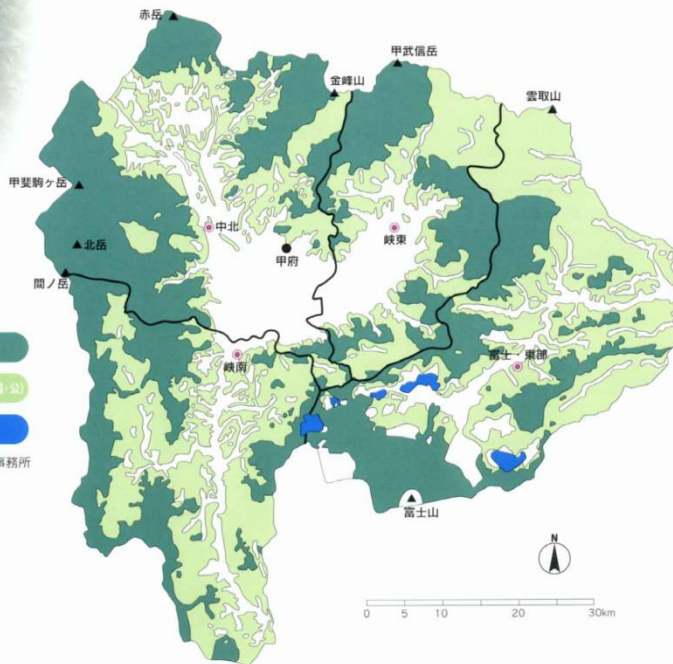
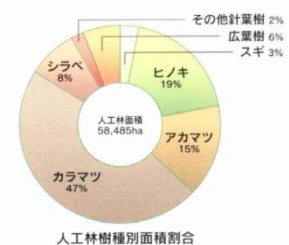
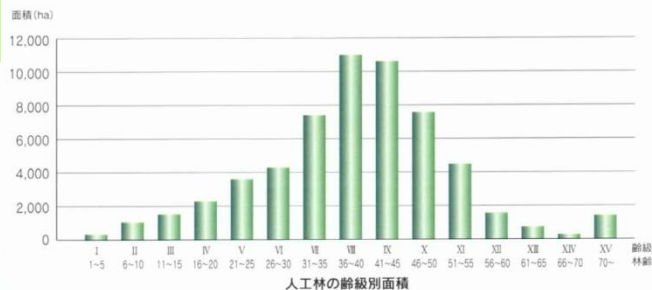
県有林は、国際的な認証機関のFSC森林管理認証を平成15年4月に取得し、環境に配慮した管理経営を行っています。

収穫の時期をむかえつつある県有林

ヒノキ、カラマツなどの人工林は適切な管理により収穫の時期をむかえつつあります。

表紙：大正天皇即位記念事業により大正12年に植栽された木賊峠（北杜市須玉町）のカラマツ林

Yamanashi Prefecture's Forests



地形 (1)

山梨県の地形



この地図の作成に当たっては、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 250mメッシュ（標高）を使用したものである。（承認番号 平 12 総使、第 489 号）

受託管理している森林の一例



受託管理型の森林施業とは

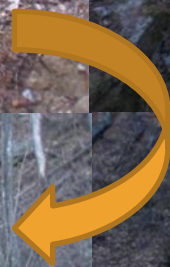
森林所有者様に代わって森林の管理と経営を行い、植林のコストや造林及び間伐費用などについても森林所有者様のは負担を無しとしたうえで、国や県の補助事業を取り入れながら間伐事業等の余剰金を森林所有者様に還元する施業です。



受託管理の森林



森林作業道の開設



林内に開設されている作業道



幅員2.5mの小規模な森林作業道を整備することで、森林利用の付加価値をつける。
また、小規模な作業道は森林への負担も軽減させている。

導入中の小型車両系の作業システム



小型車両系による作業システム



地産地消の建築材利用事例



林業とは
長いスパンを必要とする産業
先代から受け継いだ森林資源を有効的に活用できる産業
受け継いだ森林を後世に引き継ぎ託すことができる産業
自然と共存することで持続的な生産を行える産業



持続可能な森林経営を目指す
有限会社 藤原造林

[HTTP://WWW.YAMA-MORI.COM/](http://www.yama-mori.com/)